

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和5年10月27日
タイトル	水土里レポートが繋ぐ土地改良区の輪！2023
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和5年10月24日（火）香川県丸亀市の大窪池土地改良区 真鍋順穂理事長をはじめ約30名の皆様が視察研修に来られました。

事前に、平成30年7月に発生した西日本豪雨の被害や対策についての研修との要望をお伺いしておりましたので、福山市土木部農林整備課庶務担当 山廣泰子次長、工務第1担当 田上雅章次長にも参加いただきました。

水土里ネット福山の土地改良区会館2階会議室において、杉原郁充常務理事から「福山市土地改良区の概要」について、続いて施設維持管理担当の小坂昌弘主任より「平成30年7月豪雨の災害対応と被災状況」について説明しました。

水土里ネット福山が位置する福山市の市街地は、約400年前に初代藩主 水野勝成により福山城の築城とともに干拓されたもので、当時整備された水路の一部は現在も農業用水路として利用されています。

この豪雨では、平成30年7月5日から9日の累計雨量374mm（瀬戸観測所）により内水氾濫による浸水被害が発生し、周辺区域の約200haが浸水しました。

また、三昼夜にわたった第一佐波排水機場の稼働状況や場内の浸水状況、再度災害防止のための対策について説明しました。

質疑応答では、施設改良事業や水路清掃の有り方や管理などについて意見交換することができました。



研修には女性も参加しておられました



具体的な事例について意見交換できました

続いて、福山市より「平成30年7月豪雨のため池災害の対応」について説明しました。

広島県は兵庫県に次いで全国で2番目にため池が多く、福山市は広島県内で3番目にため池が多い地域です。福山市では、平成30年7月豪雨で市内の農業用ため池約2,200か所(当時)のうち、決壊7か所、損壊42か所の被災がありました。

災害後に施工した事例から、埋立てによる廃止、開削による廃止、洪水調整機能を持たせる工事により廃止の3地区の事例を説明しました。

質疑応答では、ため池の改修事業を施行した時の受益者負担やため池を埋立てた後の管理方法などについて意見交換することができました。

また、農業用水路やため池は利水・治水の両方を考えて管理しなくてはならないことや高齢化や離農により管理者が減少し、水路などの土地改良施設の維持管理が難しくなっていることなど、共通する課題について意見交換しました。

水土里ネット福山は21世紀土地改良区創造運動の一環として、様々な活動を「水土里レポート」にして継続的に投稿しております。レポートをきっかけに「水土里ネット」の輪が広がっていくことを願っております。